

授 業 科 目 名	担 当 教 員 名	授 業 実 施 日	※
全学教養	石浦 正寛	6月26日(火)	
学 生 番 号	学 部 ・ 学 科	学 年	氏 名
08072038-2	工学部・物理学科	1年	市川 達哉

○時間を刻むタンパク質分子

話していただいた内容として生物時計とは何か？ということがありました。生物が24

時間周期の時計を持っていて、タンパク質が体の中で時間を刻んでいるということ。つま

りは大体決まった時間に寝て決まった時間に起きるなどというリズムはタンパク質によっ

て作られているということを僕は知りませんでした。例えば時差ボケは体の中の時計が周

りに流れる時間（時計）と合わないために起きる症状だという例はこのことを大まかにで

すが把握するのに十分なものでした。もちろん時差ボケは知っていましたが、いつもは朝

の時間に夜なんだからそうなんだろうなぐらいに考えていて、それがタンパク質の働きと

関係があるなんて考えもしませんでした。腹時計もこれに関係あるのかな？ということ

考えながら講義を聞いていました。

また、講義の後半に私のキャッチフレーズということで、人のやらないことをやろう。

自分が「おもしろい」と思えることをやる。人とは異なる概念、発想、材料、方法をもつ。

必要なものは自分で作る。他には理解してもらえないかもしれないけれど、信じてやるの

が研究者だ。など本当にそうできたらいいなと思うようなことを話してくれました。さら

に、理学（研究）の心として、直ぐに役立つことよりは面白いこと、物事の本質、のめり

込めることを究める。ということもおっしゃっていました。そこを目指して頑張っていき

たいなと思いました。